

日本政府と国連主催による「平和の詩コンテスト」授賞式

今年10月に行われた日本政府と国連主催による「平和の詩コンテスト」で、全世界から応募された741点の作品の中から第2位に選ばれた、メルボルン近郊にある **Keilor Downs College** に通う11年生、ハシュラ・クマラワンサさんに対する授賞式が12月14日、当館広報文化センターで行われ、側嶋総領事は賞状と記念品を授与し祝辞を述べました。



平和の詩コンテストは、日本政府が「核兵器のない世界」を実現するため、核兵器使用の惨禍と平和の尊さを国際社会及び将来の世代に伝えていくことが唯一の戦争被爆国として重要であると考え、この度国連の協力により実現したものです。

コンテストは、原爆被爆者の方々の体験を読み、感じたことを詩、俳句、短歌などの短い文章で表現するというもので、**Facebook** に投稿された作品に **Like(いいね!)** の投票が多かった作品の中から3点が選ばれました。



豪・日双方の取材陣も出席する中、側嶋総領事はハシュラさんに、玄葉外務大臣名の賞状をよみあげながら、自らがかつて国連軍縮会議の決議案提

出に関わった体験も交えつつスピーチを行いました。またハシュラさんに、まず身近な人に平和について語り続けるよう激励しました。

